

新年のごあいさつ



岡崎 賢 議長

あけましておめでとうございます。

新生神石高原町も二度目の新春を迎えました。町民の皆様も、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の十月・十一月は気温が高く、十二月は厳寒でさらに大雪にみまわられての越年で、大変であったこととお見舞い申し上げます。

さて、小泉行政改革も進み、日本の経済も脱デフレの足音も聞こえますが、神石高原町の財政は下方に向かいつつあることに変わりありません。

社会保障の将来に大きな不安がある中、世界のどの国も経験したことのない超高齢化社会・限りなく進む少子化・その将来の担手教育・雇用等諸問題への対応策は中山間地に置かれた本町が避けて通ることのできない重要な課題であります。これらを解決していく施策を、町は一体感で醸成し、調和のとれたものとなるように、合併の生き証人である議員一同も町内各地で文化・産物を組み合わせた新しい施策を研鑽のうえ提言し、新町の建設に邁進する所存でございます。

どうか本年も一層のご指導とご協力を賜りますようお願いがい申しあげますとともに、今年一年皆様方にとりましてもご多幸な年でありますようお願い申し上げます、私の年頭のごあいさつといたします。

決算審査報告

審査に付された各会計の決算書、歳入歳出事項別細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿、証券類と照合した結果、誤りのないものと認められた。



①健全な財政について

経済の景気低迷による税収の落ち込みや、地方交付税等の減額、債費の増により、財政の弾力性を示す経常収支比率は、要注意と言われている八十%を超え、九一・四%と極めて憂慮すべき事態となっている。また、公債費比率も高く、財政硬直化の一因となっている。急激な少子高齢化の中で福祉の向上や生活環境の整備など地域住民の要請にこたえていくためにも、財政硬直化の改善に向け対処すべきである。

②財産管理について

台帳整備は概ね完了の域に達しているが、財産は重要な資産であり、旧町村からの引継ぎ処理に留まらず、年度末数値を検証し、完全な台帳整備に努められたい。

③税等の滞納について

税等の滞納繰越金は二千九百八万二千九百六十四円、旧町村から引き継いだ額より六百六十五万七千二百六十四円増加している。法的措置を含め、徴収の格段の努力を望む。

④土地課税について

国土調査に係る課税について旧町村で対応に相違がある。課税の平等性からして、統一への検討を望む。

神石高原町監査委員

瀬尾 征爾
岡崎 武志